

# バスケットリーニュース

## Basketry News 2015

### — 目次 —

バスケットリーニュースより	1
カゴアミドリ連載① 宮古の横田かご—港で活躍する魚かご—	伊藤征一郎 2
第 28 回企画展「クバものがたり～種からアートまで～」宮古島市総合博物館	與那覇史香 6
クバものがたり	本間一恵 7
ネクサス・紙による表現展 Nexus-Paper	谷川鶴子 9
搬入に参加して	板橋幸知子
金箔張り体験ワークショップ	佃真弓
解散後の寄り道	吉屋慧実子
展覧会報告 アルテ・ファクトのバスケットリー展 / 深井美智子・志乃の仕事展	10
もうひとつの藁 東明美・山本あまよかしむ	11
鳥の巣 World—命をまもる形—	12
横井庄一さんのくらしの道具/世界のヒョウタン展	13
バスケットリーと植物 No.13 「カラムシ、リョウメンシダ、ツツラフジ」	高宮紀子 14
バスケットリーと植物 No.14 「正福寺遺跡のかご:ツツラフジ、テイカカズラ」	高宮紀子 17
てんごや(八女市)の竹スツール	本間一恵 20
トカゲの作り方	関口千鶴 22
どれもこれもかごの話 ①イモリ、ヤモリ、トカゲ ②シリア ③匂い	本間一恵 23
行ってみました 國學院大學博物館	本間一恵 26
新着資料 野外研叢書8『秩父のスカリ』	27
追補 百花百遊/第 28 回バスケットリー展	27
年報版のオマケ 宮古島滞在記	本間一恵 28

バスケットリーニュース 2015 年版(通巻 89 号)

バスケットリーニュース 編集/本間一恵 発行/有限会社ゆーの

144-0056 東京都大田区西六郷 1-19-11 03-3732-3139

連絡先 [honmak@mb.point.ne.jp](mailto:honmak@mb.point.ne.jp)

定価 2000 円

## バスケットリーニュースより

バスケットリーニュースは、1985年の創刊から、有料の定期購読メンバー制で、発行してきました。2015年1月発行の第88号をもちまして、この定期購読制の発行を停止しましたが、これからもバスケットリー展のウェブサイトの一部をお借りして、バスケットリーニュース電子版として投稿の掲載を継続することになりました。まだはっきりとした運用システムが定まっていませんので、ご不便をおかけするかもしれませんが、よろしくお願いいたします。

今後は、このウェブサイト上の記事をもとに、一年ごとに定期的に紙のメディアに再構成して、発行をしていく予定です。そちらの方は有料となりますが、またあらためてお知らせいたします。

投稿、質問などは、今まで通り編集人本間まで、またはこのサイト <http://basketry-exhibition.org/>宛にお送り下さい。

ワードのテキストとjpgファイルの写真を送付して下されば、こちらでレイアウトして掲載いたします。レイアウト済みの原稿も歓迎します。

掲載要件のご希望、その後の紙媒体への採用などにつきましては、個々に対応させていただきますので、よろしくお願いいたします。

[ご報告]

第88号を2015年1月23日付で発行した後、1985年の第1号から88号までを2セット、国立国会図書館に送付しました。出版物はすべて国立国会図書館に送るという「納本制度」があるのですが、バスケットリーニュースのようなホチキス止めの体裁のものは、その制度からは外れています。しかし、88号で一段落したことを機にまとめて寄贈したところ、問題なく収集されたようで、資料検索によってバスケットリーニュースの存在を確認出来るようになりました。

これで、以前よりの東京国立近代美術館工芸館に加えて、国立国会図書館の本館(東京永田町)と、関西館(京都府)でも保存され閲覧可能になりましたのでご利用ください。

2015.3.8 (本間一恵 記)

### 追記 2016.1.3.

88号発行後、上記のようにバスケットリー展サイトでの電子版を開始。その仮住まいを経て、あらためてグーグルサイトでBasketry News web版を始めました。<https://sites.google.com/site/basketrynews/>  
執筆依頼を怠った結果、以前の一年分のボリュームにはなっていませんが、それでも30ページ近くにはなりましたので、予定通りpaper版を年報として発行いたします。

原稿募集は常に行っています。締切、長さ制限など特に設けていません。

原稿料もありませんし、純粋に書きたいことを書きたい人が書きたい時に書きたいだけ書くということにしています。

ただしこれは、かなりハードルが高いのです、実際は。

というわけで、締め切りを設けて催促をしてほしい、という方にはそのように対処いたしますので、お申し出ください。

高宮紀子さんには引き続き連載をお願いしていますし、カゴアミドリのプログをもとに伊藤征一郎さんの連載もはじまりました。

こんな所へ行った、こんな展覧会を見てきた、というだけでも結構ですから気軽にご投稿下さい。